

⑤ 定期的な確認・点検

一般的に、ホース格納箱の中には、ホース、消火栓開閉ハンドル、管そうが入っていますが、一つでも欠けると消火活動を行うことができません。

全国的に、ホース格納箱に収納されている器具が盗難される事案が発生しています。

各自治会や自主防災組織で管理するホース格納箱の定期的な確認・点検をお願いします。

《点検要領》

- ・ 格納箱本体に大きな破損や錆びがないか確認します。
- ・ 扉の変形等により開閉に支障がないか確認します。
- ・ 収納資機材（ホース、管そう）の結合部分（金具）が正常に動くか、結合させて確認します。
- ・ ホース内張のゴムやホース全体に明らかな変形等がないか確認します。

3 救助救出方法

① バールを使った救出方法

バールは、てこの力を使って重い物を動かすことが可能で、下図のように地震等の災害時に、建物や車などに閉じ込められた人を安全な場所に救出するため、がれきを持ち上げたり、ドアをこじ開けたり、窓を破壊するのに有効です。



救出の流れ

《状況確認》

重量物に挟まれている人や閉じ込められている人を確認し、バールで持ち上げる場所や開放する所を選定します。



《重量物持ち上げや開放》

バールで重量物を持ち上げやドア等を開放します。倒壊した家屋等では大変不安定な状態になっていますので持ち上げる高さは最小限にしてください。持ち上げてスペースができたならあて木を差し込みます。



《救出》

素早く引きずり出し、安全な場所に搬送します。

救出後は、更に倒壊するおそれがあるため、現場には近づかないようにしてください。



② ジャッキを使った救出方法

ジャッキは、地震等の災害時に建物等に閉じ込められた人を安全な場所に救出するため、がれき等を持ち上げるのに有効です。ボールよりも重い物を持ち上げることができますが、設置するには一定のスペースが必要です。すき間が狭く、設置が困難な場合は、ボール等によりすき間を広げてから使用します。



救出の流れ

《状況確認》

ジャッキアップポイント(ジャッキを置いて、重量物を持ち上げる場所)を選定します。※平らな場所を選びます。



《重量物持ち上げや開放》

ジャッキが重量物に当たるまで伸ばします。すき間が狭く、ジャッキが入らない場合は、ボール等を使用して、この原理ですき間を広げてからジャッキを設置します。ゆっくりと伸ばして重量物を持ち上げていき、持ち上がったら角材などを差し込みます。



《救出》

素早く引きずり出し、安全な場所に搬送します。
救出後は、更に倒壊するおそれがあるため、現場には近づかないようにしてください。



4 傷病者の搬送要領

① 担架による搬送

応急的に作成した担架を用いて行う搬送方法です。

担架は、原則として足側を前にして搬送しますが、急な坂道での搬送は傷病者に負担をかけないため頭側を高くして搬送します。

《毛布で作る担架》

毛布の1 / 3のところに棒を置いて、棒を包み込むように折り返します。
折り返した毛布の端にもう1本の棒を置き、折り返して完成させます。

